

日本体育大学

令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	スポーツマネジメント学部 スポーツライフマネジメント学科 学校推薦型 スポーツマネジメント推薦
科目	小論文

【出題の意図】

- ・学部のアドミッションポリシーのひとつである「他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲を有している人」に合致する出題とした。
- ・推薦基準である「本学入学後もスポーツライフマネジメントに強い関心を持つ」ことを確認する出題とした。
- ・マネジメント活動で重要なコミュニケーション能力の重要性についての理解を問う出題とした。

【模範解答】

私は高校入学時からサッカー部でマネージャーを務めてきた。この活動を通して、コミュニケーション能力はチームを機能させる要だと感じている。

まず、意思疎通では、チームの戦略実行と選手のコンディション維持において最も重要である。例えば、新しい戦術を徹底する際、特定のポジションの選手が戦術的な疑問や身体面の不安を抱えていることがあった。私が顧問との間に立ち、選手の懸念を正確に汲み取って励ましたり、チーム状況を伝達したりしたことで、練習メニューが修正され、戦術理解度が向上した。このような対話で、チームの団結力も高まったと考えられる。

次に、協調性は、特に学校内での資源利用の場面で不可欠である。私たちの高校では他クラブとの共用や試合後の整備の調整が必要であった。この際、「先に練習を終える部がライン引きを手伝う」といった協力的な提案を通じて、双方にとって公平で効率的な利用計画を作り上げた。これによって限られた環境下で、すべての部活動が気持ちよく活動できる基盤ができた。

最後に、自己表現能力は、クラブの運営基盤強化に大きく貢献した。具体的には、選手のパフォーマンスを科学的に分析するためのGPSトラッカー導入費用や、遠征時の専門的な栄養サポート費用の支援を、学校側や保護者会に要請したことである。単に「必要」と訴えるだけでなく、「ケガの予防に繋がり、年間を通してのパフォーマンスを維持できる」といった具体的なメリットをデータとともに提示した。この訴求力が、資金獲得を成功させ、選手が競技に集中できる土台を築いたと考えられる。

これら三つのコミュニケーション能力は、サッカー部という集団の中で、マネージャーが選手、指導者、学校、保護者といった全てのステークホルダーの期待に応え、チームの目標達成に導くための環境を整備する上で、欠かせないマネジメントスキルであると言える。